

標 題 : Discrepancies among different tools evaluating Mediterranean diet adherence during pregnancy, correlated to maternal anthropometric, dietary and biochemical characteristics.  
妊娠中の地中海食事順守を評価する様々な方法の間の相違は、母親の身体測定、食事および生化学的な特徴と相関する

---

著 者 : T. Papazian, et al. (レバノン ベイルートのセント・ジョセフ大学  
薬学部 栄養学科)

---

掲 載 誌 : Clin. Nutr. 2019 Jun; 38(3): 1398-1405.

---

要 旨 :

背景と目的 : 科学的な証拠が、母親および新生児の転帰に対する地中海食事の好ましい影響を確認している。

しかしこの食事パターンの評価には、妊娠女性に適用される採点法を伴った有効な指数を必要とする。

この横断研究の目的は、地中海食事パターンに従っている妊娠女性で、5種類の国際的に認証された方法による地中海食事の順守を比較して、母親の身体測定、食事および生化学的な指標と相互に関連付けることであった。

方 法 : 100人の健康な妊娠女性が、社会人口学のアンケート、食事回想および地中海食事に対応する食事頻度アンケートを完了した。

C-反応性タンパク質(CRP)、レプチンおよびアディポネクチンなどの生化学的マーカーの分析のために、10mlの母体血を採取した。

結 果 : 我々は各尺度の分画(低または高順守)に50パーセント値を使用して、様々な手段について広い範囲な分画点について文献で指摘された相違を避けた。

地中海食品パターン、地中海食事スコア、および短い地中海食事アンケートの間で、一致のパーセントは高かった。

他の試験した方法との関連で、地中海食事尺度は少ない一致を示した。

地中海食事尺度を除く、全ての試験した指標がC-反応性タンパク質の値と有意に相関した。

アディポネクチンと地中海食品パターン(p値=0.04)および地中海食事尺度(p値0.03)に関しては、有意な相関に達した。

妊娠前のBMIは、試験した全ての生化学的マーカーと有意に相関した。

一方のC-反応性タンパク質と他方の母性年齢(p値=0.033)、アディポネクチン(p値=0.028)、およびレプチンh(p値=0.003)との間に、有意な相関が見られた。

繊維摂取は有意に、C-反応性タンパク質と負の相関をし(p値=0.008)そしてアディポネクチン値と正の相関をした(p値=0.000)。

結 論： 先験的なスコアは、妊娠した女性がすでに摂取していないアルコールなどの成分または毎日や毎週の摂取が推奨されている全脂乳製品と魚などの成分によるものなので、試験した方法はどれも妊娠に適してなかった。

さらに、地中海食事の伝統的な成分の一部が入っていないので、妊娠に適用される新しい指数を作り出すべきと意味している。

キーワード： アディポネクチン、BMI、C-反応性タンパク質、レプチン、地中海食事順守、地中海食事スコア、妊 娠

著作権© 2018年 エルゼビア社およびヨーロッパ臨床栄養・代謝学会。 著作権所有。

---